

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)
長岡市中心市街地地区

平成22年10月

新潟県長岡市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県	市町村名	長岡市	地区名	長岡市中心市街地地区			面積	92.5ha						
交付期間	平成18年度～平成22年度	事後評価実施時期	平成22年度	交付対象事業費	17,372百万円	国費率	0.446								
1)事業の実施状況	事業名														
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業 道路(地下自転車駐車場整備)、地域生活基盤施設(宝田公園、長岡セントラルパーク)、生活基盤施設(厚生会館地区駐車場整備)、高次都市施設(長岡市公会堂(仮称)、まちなか賑わい交流センター(仮称)大手通中央東地区)、都市再生交通拠点整備事業(東西自由通路、地下通路)、市街地再開発事業(大手通中央東地区) 提案事業 地域創造支援事業(厚生会館地区再整備設計コンペ事業、市民活動ホール(仮称)整備事業、厚生会館地区市役所事務機能整備事業、まちなか子育て施設整備事業、まちづくり活動事業、タウンマネジメントセンター整備事業)、事業活用調査事業(中心市街地交通結節点等有効活用調査事業、駐車場活用調査事業、まちなかキャンパス(仮称)事業調査事業、中心市街地活性化ソフト事業活用調査)、まちづくり活動推進事業(厚生会館地区オープニングイベント事業、交通対策事業)													
	当初計画から削除した事業	基幹事業 なし 提案事業 1.タウンマネジメントセンター整備事業	削除/追加の理由 1.提案事業から関連事業へ移行。			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 関連事業への移行のため影響なし。									
	新たに追加した事業	基幹事業 1.子育て世代活動支援センター(大手通中央西地区) 2.市道1,2,3,4号線整備事業 3.屋根付広場等整備事業 4.市街地再開発事業(大手通表町西地区) 提案事業 1.中越市民防災安全大学事業 2.中心市街地再開発事業化検討調査事業 3.大手通中央東地区市民協働まちづくり実践まちなか型市役所整備事業 4.交通円滑化対策調査事業 5.まちなかホール代替活用実験事業 6.厚生会館地区施設除却・解体事業 7.厚生会館地区活用想定イベント-PR事業 8.市民活動ホール(仮称)映像発信設備等整備事業 9.事業効果検証分析調査及びまちづくり方策検討調査事業 10.まちなか情報発信事業	削除/追加の理由 1.制度拡充に伴い提案事業から基幹事業へ変更。 2・3.長岡市公会堂(仮称)の計画確定や設計作業の進捗により周辺道路及び屋根付広場等の整備を追加。 4.検討作業の進捗により再開発事業に着手する必要が生じたため追加。 1・7・8・10. 各種イベント等を実施するための取り組み、施設整備、活動支援等を追加。 2. 民間事業者や再開発組合等と協力し、市街地再開発事業の検討を行なうため追加。 3. まちなか型市役所整備を追加。 4. 各種施設整備により交通量の増加が見込まれたことから、交通の円滑化に関する検討を行なうため追加。 5-6. 各種施設整備に伴う既存施設機能の仮設整備、既存建物の撤去を行なうため追加。 9. 事業効果の分析と事業成果の検証を行なうため追加。			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 歩行者通行量、中心市街地内居住者人口の指標に影響するが、目標、指標、数値目標は据え置く。 歩行者通行量、中心市街地内居住者人口、中心市街地内雇用者数の指標に影響するが、目標、指標、数値目標は据え置く。									
交付期間の変更	当初変更	平成18年度～平成22年度	なし	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし	平成22年度末時点	平成23年度末時点							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	基準年度	目標年度	数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期				
	指標1	歩行者通行量	人/日	69,974	H15	70,000	H22	モニタリング	評価値	61,533	△	あり なし	● ○	大規模商業施設の閉店などにより目標達成には至らなかったが、減少傾向の抑制は図られており、今後、各種事業の効果発現により目標達成する見込み。	H24年11月頃
	指標2	中心市街地内居住人口	人	6,745	H15	6,750	H22	モニタリング	評価値	6,807	○	あり なし	● ○	各種事業による居住環境や利便性の向上などにより、民間住宅供給が誘導され、居住人口の増加に結びついた。	H24年4月頃
	指標3	中心市街地内雇用者数	人	15,262	H13	15,370	H22	モニタリング	評価値	14,450	△	あり なし	● ○	大規模商業施設の閉店などにより目標達成には至らなかったが、減少傾向の抑制は図られており、今後、各種事業の効果発現により目標達成する見込み。	H25年8月頃
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	基準年度	目標年度	数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期				
	その他の数値指標1	東西自由通路部における歩行者通行量	人/日	15,213	H19			モニタリング	評価値	19,437			●	駅東西自由通路において、東西のアクセス性、駅の拠点性及びエスカレーターなどにより利便性が向上し、歩行者が増加した。	H24年11月頃
	その他の数値指標2	循環バス利用者数	人/日	235	H18			モニタリング	評価値	374			●	循環バス便数の増加により、バスを利用して中心市街地に訪れる人の数が増加した。	H23年4月頃
	その他の数値指標3	子育て支援施設利用者数	人/年	30,312	H17			モニタリング	評価値	42,732			●	施設が新しくなり、広さ1.7倍、絵本館開設など機能拡張を図った子育て支援施設整備により利便性が向上し、当該施設利用者が増加した。	H23年4月頃
その他の数値指標4	空き店舗・事務所数	箇所	309	H19			モニタリング	評価値	189			●	各種事業の進展により、来訪者や就業者の増加への期待が醸成され、空き店舗・事務所補助制度の利用など、空き店舗を活用した新規出店が増加した。	H25年8月頃	
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・大手通りにおける各種イベントでは多くの来訪者があり、賑わいを創出できた。また、アンケート調査でも、久しぶりに大手通りに来ることができたとの声が多く聞かれた。 ・NPO、商店街、その他市民団体などが積極的にまちづくりの企画、運営に関わるようになった。 ・イベント時における中越市民防災安全士会や消防などによる防災に関する情報発信により、防災意識の啓発につながった。 ・NPOなどの活動やイベントにより「ご当地グルメ」「地酒」などが発信され、食の面からも活性化が高まりつつある。 														
5)実施過程の評価	実施内容														
	モニタリング	長岡市中心市街地構造改革会議、長岡市中心市街地活性化協議会などにより、行政機能の再配置等の検討のほか、それぞれの事業の進捗状況について報告し、情報公開した。	実施状況			今後の対応方針等									
	住民参加プロセス	長岡市中心市街地活性化協議会、長岡市中心市街地構造改革会議により、地元関係者等による会議を開催し、住民参加によるまちづくりを検討する会議を行った。シティホールの活用について、市民ワークショップを開催した。	実施状況			今後の対応方針等									
持続的なまちづくり体制の構築	NPO法人、商店街、長岡市中心市街地活性化協議会、長岡市大手通表町地区まちづくり促進会議などにより、持続的なまちづくり体制が構築された。	実施状況			今後の対応方針等										

様式2-2 地区の概要

長岡市中心市街地地区(新潟県長岡市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
【大目標】 :平成16年10月の新潟県中越大地震からの復興を図りつつ、郊外分散した都市機能のまちなか回帰の促進と大地震から受けた未曾有の被災経験を活かした防災性と利便性の高い中心市街地の創造 ○目標1 :厚生会館地区の整備、再開発事業の促進による防災性を兼ね備えた都市施設の機能更新と集積、交通アクセス性の向上により、まちに「来る人」の増加 ○目標2 :市街地再開発事業の促進等による都市型住宅整備、居住者にとっての利便性の向上により、まちに「住む人」の増加 ○目標3 :公共施設の集積を起爆剤とした業務機能の集積、空き店舗活用、企業支援施策等により、まちで「働く人」の増加	歩行者通行量	単位:人/日	69,974 H15	70,000 H22	61,533 H22
	中心市街地内居住人口	単位:人	6,745 H15	6,750 H22	6,807 H22
	中心市街地内雇用者数	単位:人	16,262 H13	15,370 H22	14,450 H22
	東西自由通路における歩行者通行量	単位:人/日	15,213 H19	-	19,437 H22
	循環バス利用者数	単位:人/日	235 H18	-	374 H22
	子育て支援施設利用者数	単位:人/年	30,312 H17	-	42,732 H22
	空き店舗・事務所数	単位:箇所	309 H19	-	189 H22

【厚生会館地区】

- 長岡市公会堂(仮称)整備事業(高次都市施設:観光交流センター)
- 宝田広場整備事業(地域生活基盤施設:広場) [H20年度]
- 長岡セントラル広場整備事業(地域生活基盤施設:広場) [H20年度]
- 屋根付き広場等整備事業(地域生活基盤施設:広場) [H21年度~H22年度]
- 市道1号線整備事業(道路)
- 市道2号線整備事業(道路)
- 市道3号線整備事業(道路)
- 市道4号線整備事業(道路)

□厚生会館地区再整備設計コンペ事業(地域創造支援事業)

□厚生会館地区市役所事務機能整備事業(地域創造支援事業)

□市民活動ホール(仮称)整備事業(地域創造支援事業)

□市民活動ホール(仮称)映像発信設備等整備事業(地域創造支援事業)

□厚生会館地区施設除却・解体事業(地域創造支援事業)

【JR長岡駅大手口地区】

- JR長岡駅大手口駅前広場再整備事業(東西自由通路)(都市再生交通拠点整備事業)
- JR長岡駅大手口駅前広場再整備事業(地下通路)(都市再生交通拠点整備事業)
- JR長岡駅大手口地下自転車駐車場整備事業(道路)

【大手通中央西地区】

- まちなか子育て施設整備事業(高次都市施設:子育て世代活動支援センター)
- 大手通中央西地区第一種市街地再開発事業

【中心市街地内】

- 駐車場活用調査事業(事業活用調査)
- 中心市街地交通結節点等有効活用調査事業(事業活用調査)
- 中心市街地活性化事業活用調査事業(事業活用調査)
- 中心市街地再開発事業化検討調査事業(事業活用調査)
- 交通円滑化対策調査事業(事業活用調査)
- 事業効果検証分析調査及びまちづくり方策検討調査事業(事業活用調査事業)
- 厚生会館地区活用想定イベント・PR事業(まちづくり活動推進事業)
- 交通対策事業(まちづくり活動推進事業)
- まちなかホール代替活用実験事業(まちづくり活動推進事業)
- まちづくり活動事業(地域創造支援事業)
- 中越市民防災安全大学事業(地域創造支援事業)
- まちなか情報発信事業(地域創造支援事業)

【大手通中央東地区】

- まちなか賑わい交流センター(仮称)整備事業(高次都市施設:地域交流センター)
- 大手通中央東地区第一種市街地再開発事業(市街地再開発事業)
- 大手通中央東地区市民協働まちづくり実践まちなか型市役所整備事業(地域創造支援事業)
- まちなかキャンパス(仮称)事業調査事業(事業活用調査)

【大手通表町地区】

- 大手通表町西地区第一種市街地再開発事業(市街地再開発事業)

凡例

- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業

まちの課題の変化

- ・各種事業の推進及びNPO、商店街、市民などの活動の展開により、中心市街地の魅力が向上しつつあり、また、民間事業への誘発となっている。
- ・シティホールの整備や再開発事業により、既存ストックなどが機能更新されたが、一方で、新たに閉店した大規模商業施設跡地の課題なども発生した。
- ・駐車料金の低廉化、駐車場案内システムの整備、民間駐車場の有効利用などにより、駐車場利用の利便性が図られた。
- ・JR長岡駅大手口地区の再整備事業により、歩行者の動線確保や交通アクセスの向上が推進された。
- ・災害時に防災拠点ともなるシティホール等の整備が実施されるとともに、中心市街地を防災面から補完する長岡防災シビックコア地区も整備された。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・中心市街地の活性化を進めるため、市民と行政がそれぞれの得意な分野や持ち味を生かし、相互連携しながら市民協働のまちづくりを展開し、市民力を生かした取り組みを支援していく。
- ・市街地再開発事業のさらなる促進により、公共機能のほか商業、業務、居住機能などの導入及び機能更新を図っていく。
- ・公共交通機関の利便性の向上を図りながら、中心市街地の交通環境を整えていく。
- ・アーカイブセンター、中越市民防災安全大学での活動や情報発信により、さらなる防災意識の向上を図っていく。

都市再生整備計画(第9回変更)

ながおか し ちゅうしんしがいち ちく
長岡市中心市街地地区

にいがたけん ながおか し
新潟県 長岡市

平成22年6月

